UNITED STATES OF AMERICA
FEDERAL TRADE COMMISSION
Washington DC 20580

IPアドレスの後に [ ナンバー挿入 ] があるのは、オープン・リレー（第三者中継）メール・サーバーであろうと色々な一般データベースが示唆しています。 そうであれば、この書簡は貴社にある E メール・サーバーやオンラインに影響に及ぼす恐れがある重要な情報を含んでいることになります。

オープン・リレーは、世界にあるどんなコンピューターにでも、他のインターネット・メール・アドレスへ E メールを発信させたり、宛名不明でE メールを戻らせたりできるコンピューター（E メール・サーバー）です。 オープン・リレーは、しばしインターネットに勝手に送信してくる広告用 E メールもしくはスパム（ジャンクメール）を一気に流し込んでいる人物により利用されます。 これにより法の執行や組織の上での問題が、世界中の消費者に発生しています。例えば、スパムの受信者には、スパムが自分のシステムから来ている、メール・サーバーやインターネット・サービス・リソースが誰か知らない第三者により使用されている、ネットワークの接続が混雑して詰まっている、管理費が増加している、インターネット・サービス・プロバイダーがインターネット・サービスを停止しているといったように見えるかもしれません。 オープン・リレー・メール・サーバーを修理することにより、システムを不正行為から守ることができます。

連邦取引委員会は消費者を不正、詐欺、悪用行為から守る責任を任された米国政府機関です。当委員会はそのパートナーとともに、オープン・リレー・メール・サーバー関連の問題やこのような問題から組織をどのように守るかについて説明する勧告を送付しています。 当委員会は、国内パートナーであるアーカンソー州、ルイジアナ州、ニュー・メキシコ州、オクラホマ州、テキサス州の検事総長、ニュー・メキシコ地区検察局、米国郵政観察局、安全取引委員会のフォート・ワース事務局、テキサス州リチャードソン警察と一緒にこの問題に取組んでいます。 国際的コミュニティからは、オーストラリアの競争消費委員会、カナダ連邦産業省、全国消費者サービス (SERNAC: Servicio Nacional del Consumidor)、消費者政策に関する経済協力開発機構 (OECD: Organization for Economic Cooperation and Development) の日本代表が参加しています。

オープン・リレーについての情報は、 http://www.ftc.gov/openrelay のビジネス警告 (Business Alert) をご覧下さい。 サーバーがオープン・リレーになっていてそれを打ち切りたい方は、ステップ毎の指示に従って補修して下さい。

上記の指示、内容についての質問は、relay@ftc.gov. 迄お問い合わせ下さい。